



まんだらげ

串本町・檜野崎灯台のスイセン

vol. 19
2011.12

CONTENTS

- 新任教授紹介
- スペシャリスト紹介
- お薬の豆知識／お薬手帳
- TOPICS／連携登録医制度
- 栄養ワンポイントアドバイス／ブロッコリーのクリームスープ

■ 看護師・助産師募集

和歌山県立医科大学附属病院では看護師・助産師を募集しています。

※ 募集等詳細につきましては当大学ホームページをご覧ください。または下記までお問い合わせください。

<http://www.wakayama-med.ac.jp>

公立大学法人和歌山県立医科大学 和歌山市紀三井寺811-1

電話：073-441-0711 事務局総務課

広報誌「まんだらげ」の名称について

和歌山を代表する江戸時代の外科医・華岡青洲が全身麻酔薬として用いた植物「曼陀羅草(まんだらげ)」から引用しています。花に「医」の文字をデザインしたものは、本学の校章にも採用されています。

理念

私達は患者さま本位で、質の高い医療を提供し、地域の保健医療の向上に貢献します。

基本方針

1 患者さまとの信頼関係を大切にし、安全で心のこもった医療を行います。

2 高度で先進的な医療の研究をすすめ、その成果を反映した医療を行います。

3 豊かな人間性と優れた専門技術を持った医療人を育成します。

4 地域の中核病院として、和歌山の保健医療を推進します。

新任教授紹介

脳神経外科教授
中尾 直之

10月1日付けで脳神経外科教授に就任いたしました。本学を昭和61年に卒業し、国保日高総合病院勤務、海外



留学などを経た後、平成9年より本学脳神経外科で勤務してきました。専門は脳腫瘍外科でとくに頭蓋底腫瘍の外科治療に取り組んできました。

今後、教室員全員それぞれが脳腫瘍、脳血管障害、機能的神経疾患、脊椎などの研究テーマをもって各領域を発展させていくと同時に、自身の研究テーマでもある“低侵襲”脳神経外科手術も充実させていきたいと思います。そして、脳神経外科救急を中心とした地域医療の充実もめざします。



【中央放射線部】

放射線技師として今年で18年目となります。母と姉が看護師ということもあり、将来は患者さんのために医療の仕事に就きたいと思っていました。

普段は一般撮影やCT、MRI、マンモグラフィー撮影、救急撮影などを担当しております。そして今年11月より放射線治療部門

へ配属となり、がん患者さんの治療に全力を注いでいます。

また、救急撮影時には「患者さんの切迫状況を素早く判断し、短時間で多くの情報を画像にして提供する」ということを念頭に置いています。そしてどんな撮影においても「常に患者さんの立場に立って行動すること」や「負担がかからないよう臨機応変に対応し、被ばくを低減しつつ、最適な画像を提供すること」を常に心掛けています。



副主査
診療放射線技師
救急撮影認定技師
宮崎 雄司

放射線技師の父の背中を見ながら育ちましたが「いつかは父を超えたい」という思いを持っていました。血管内治療が専門で昨年、最新血管装置「IVR-CT装置」が導入されましたが、和歌山で唯一の認定資格技師として、医師と二人三脚で心筋梗塞や脳卒中、がんなどの最新治療を行っています。血管病変が立体画像で鮮明に観察出来るので、画像を見ながら患者さんに負担の少ないカテーテル治療が可能となりました。リアルタイムでどれだけ治療に有効な画像が出せるか、今後も威力を発揮してくれるものと期待しています。日々研鑽を積み難病に立ち向かって、たくさんの命を救っていきたいと思います。



副主査
診療放射線技師
血管撮影・インターベンション
専門診療放射線技師
細川 聖記

お薬の豆知識



シリーズ⑮

「お薬手帳」～薬剤部から～

普段どんな薬を飲んでいるか覚えておくことは大変です。処方・調合された薬の内容を記載するお薬手帳は持っていますか。お薬手帳は処方された薬の名前、飲む量、回数、飲み方、注意事項などを記録し残しておくための手帳です。手帳には薬の効果による体調の変化なども記入しておくことで便利です。

新たに調剤された薬や市販薬を飲んでいる場合、薬の飲み合わせによっては効果が強くあらわれ副作用が出たり、効果が弱まってしまったりすることがあります。また、薬の名前は違っても同じ成分を含有することがあり、事前にお薬手帳を医師や薬剤師に見せることで副作用や重複投与を防げます。

さらにお薬手帳により過去から現在までの病歴や病状の推測ができるので、複数の医療機関を受診する場合や転居した際には非常に役立ちます。お薬手帳は調剤薬局などでもらうことができます。

和歌山県立医科大学附属病院「連携登録医制度」のご案内

目的

地域の医療機関と和歌山県立医科大学附属病院が相互に協力して、患者さんのニーズに応えた適切で切れ目のない一貫性のある医療の提供を行うため、医療機能の役割分担を行い、相互がより緊密な医療連携を図ることを目的とします。

連携内容及び特典

1. 紹介患者さんに対する診療及び入院の対応を迅速に行うよう努めます。
(但し診療科の新患担当医師が原則診療を行うものとし、医師指名の場合は予約が遅くなるなど、ご希望に添えない場合がありますのでご了承ください)
2. 登録医への逆紹介を推進します。
3. 登録医の一覧を院内に掲示し、また当院のホームページに「登録医」として周知させていただきます。
4. 診療科長及び主治医の了解のもと、紹介患者のカルテの閲覧及び診療上必要と思われる事項について情報を得ることができます。
5. 診療科長及び主治医の了解のもと、当院で実施しております諸検査や特殊な診療について見学することができます。
6. 当院の医学図書館がご利用いただけます。
7. 当院で開催されますカンファレンス、各種講演会などのご案内をさせていただきます。

登録期間は1年です。 期間満了までに退会届けの提出がない場合は、1年ごとの自動更新となります。

お申し込み方法

1. 連携登録医申請書と個人情報保護に関する誓約書と写真(縦3cm×横2.5cm)1枚を和歌山県立医科大学附属病院にご提出してください。
2. 院内手続き終了後「連携登録医証」及び「専用予約申し込み、タックシール」を送付いたします。
*申請書等の様式はホームページに掲載しております。

申込受付連絡先

和歌山県立医科大学附属病院

〒641-8510 和歌山市紀三井寺 811-1 地域連携室 TEL.073-441-0778



栄養ワンポイントアドバイス【病態栄養治療部】

クリスマスメニューに -ブロッコリーのクリームスープ-

日に日に寒さが増してくるこの季節には、温かいスープを飲むと体の芯から温まります。そこで今回は、今が旬の野菜「ブロッコリー」を使ったクリームスープを紹介합니다。ブロッコリーは体の免疫力を高めるといわれているビタミンEやCを多く含んでおり、風邪をひきやすいこの季節にはピッタリの食材といえます。今年のクリスマスメニューの一品として取り入れてみてはいかがでしょうか？



○作り方

- ① たまねぎをバターでしんなりするまで炒める。そこに小麦粉をふり、焦がさぬように炒め、洋風だしでのぼし、下茹でしたブロッコリーを加えてしばらく煮る。
- ② ①をミキサーにかけ、牛乳でのぼし塩、こしょうで味を整える。お好みでクルトンなどを散らしてください。

○材料(一人分)

ブロッコリー…50g、たまねぎ…20g、バター…2g(小さじ1/2)、小麦粉…3g(小さじ1)、洋風だし…100ml(1/2カップ)、牛乳…70ml(1/3カップ)、塩…0.5g、こしょう…少々、クルトン…少々

エネルギー106kcal、たんぱく質5.2g、脂質4.7g、炭水化物11.7g、塩分1.2g

予約センターからのお知らせ

～診察予約のご案内(初めて受診される方)～

当院の外来受診は、原則として「予約制」とさせていただきます。
ご予約は、できるだけかかりつけの医療機関などからFAXでお申し込みください。

■医療機関からのご予約

- ① かかりつけの医療機関などから当院所定の「予約申込書」にて地域連携室にFAX送信してください。
- ② 20分以内を目途に予約をお取りし、予約日時・医師名を記載した予約票を発信元の医療機関にFAX返信いたします。
- ③ 予約当日は、予約票・紹介状・保険証・診察券(受診歴のある方)をご持参のうえ、外来受付に直接お越しください。

地域連携室

FAX番号: 073-441-0805
受付時間: 月～金 9:00～17:00
(土・日・祝日・年末年始を除く)

■ご本人からのご予約

- ① かかりつけの医療機関などで紹介状をご用意ください。
※特定の医師による診療をご希望の場合は必ず「〇〇科〇〇医師」あての紹介状をご用意ください。
- ② 当院予約センターに直接お電話ください。
※午前中は、電話回線が混み合うこともございますので、なるべく午後の時間帯にお願いいたします。
- ③ 予約当日は、紹介状・保険証・診察券(受診歴のある方)をご持参のうえ、外来受付に直接お越しください。

電話予約センター

電話番号: 073-441-0489
受付時間: 月～金 8:30～16:00
(土・日・祝日・年末年始を除く)

お知らせ

お手軽検査 糖尿病など気軽に早めに健康チェック

血液検査で健康状態をチェックする「お手軽検査」。当院および他の医療機関で受診中以外の16歳以上の方が対象で、初診療や健康保険証は不要です。

希望の方は2階正面玄関の県民コーナーに設置している自動券売機で調べたい項目の検査券を購入のうえ、3階中央検査部受付までご持参ください。申込書に

必要事項を記入いただき採血します。検査結果は後日、医師によるコメントを付けて郵送します。匿名希望の方には、引換券をお渡ししますので、再度ご来院ください

検査料		梅毒	600円
脂質・痛風	1100円	糖尿病	800円
肝機能	1100円	貧血	300円
腎機能	300円	前立腺	1500円
B型肝炎	1100円	C型肝炎	1300円



和歌山県立医科大学附属病院広報誌 まんだらげ〈vol.19〉

2011年12月発行
発行/和歌山県立医科大学附属病院
〒641-8510 和歌山市紀三井寺811-1

TEL 073-447-2300

外来受付時間

- ・受付時間 午前8時50分～午前11時30分
- ・再診で予約のある方は指定時間(予約票の記載時間)
- ・休診日/土曜日・日曜日・祝日・年末年始(12月29日～1月3日)

次号発行は
3月です。

【ホームページアドレス】 <http://www.wakayama-med.ac.jp/hospital> ※診療スケジュールは、ホームページからご覧いただけます。